

# 荻窪駅周辺

# まちづくりニュース

# 第3号

発行：平成30年3月

杉並区 都市整備部 まちづくり推進課

## 荻窪駅周辺まちづくり方針をご紹介します！

杉並区では、荻窪駅周辺のまちの特長・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺まちづくり方針」を平成29年4月に策定しました。その概要（2～7ページ）をご紹介します。

この方針は、「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）」を補完し、概ね20年後の未来を視野に入れたものとして策定しています。

今後は、方針を区民・事業者等と共有し、具体化に向けた取組を進めていきます。現在、その取組の1つとして、荻窪駅周辺における総合的な交通のあり方と必要となるハード・ソフトの取組などについて、交通事業者等と連携して検討を進め、「(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略」の策定に向けて取り組んでいます。こちらについては8ページをご覧ください。



「荻窪駅周辺まちづくり方針」の本編は、杉並区公式ホームページにてご覧いただけます。

荻窪駅周辺まちづくり 検索



▼QRコード



<http://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/toshiseibi/ogikubo/1022472/1013971.html>

# 荻窪駅周辺まちづくり方針【概要】

## ■背景と目的

- 荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する杉並区の中心的な拠点となっています。
- 一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えています。
- こうした現状のもと、杉並区が住宅都市としての価値をさらに高めていくため、その潜在能力を十分に生かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進していくことが求められています。

地域発意によるまちの将来像が「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」として、平成27年12月、区に提案されました。

荻窪駅周辺のまちの特長・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「まちづくり方針」を策定することとしました。



## 荻窪駅周辺まちづくりの流れ

### 杉並区基本構想（平成24年）

#### 【戦略的・重点的な取組み】

区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区については、南北分断の解消と都市機能のさらなる強化を図ることにより、杉並の「顔」としてのまちづくりを積極的に推進します。

#### 《ステップ1》

地域の発意によってまちの将来像の絵姿を描き、共有

平成24年度

- 10年後の駅周辺のまちづくりを考える区民意見交換会
- これからの荻窪駅周辺を考えるアイデアコンペ
- 荻窪まちづくり懇談会

平成25年度～

- 荻窪まちづくり会議
  - H25.6 設立
  - H26.5 杉並区まちづくり条例に基づく「市街地整備型まちづくり協議会」に認定
  - H27.11 「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」取りまとめ

#### 《ステップ2》

地域からのまちづくり構想の提案を踏まえ、区としてのまちづくり方針を策定

平成27年12月

「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」の提案

平成28年3月

「荻窪駅周辺まちづくり検討会」設置

平成29年4月

荻窪駅周辺まちづくり方針の策定・公表

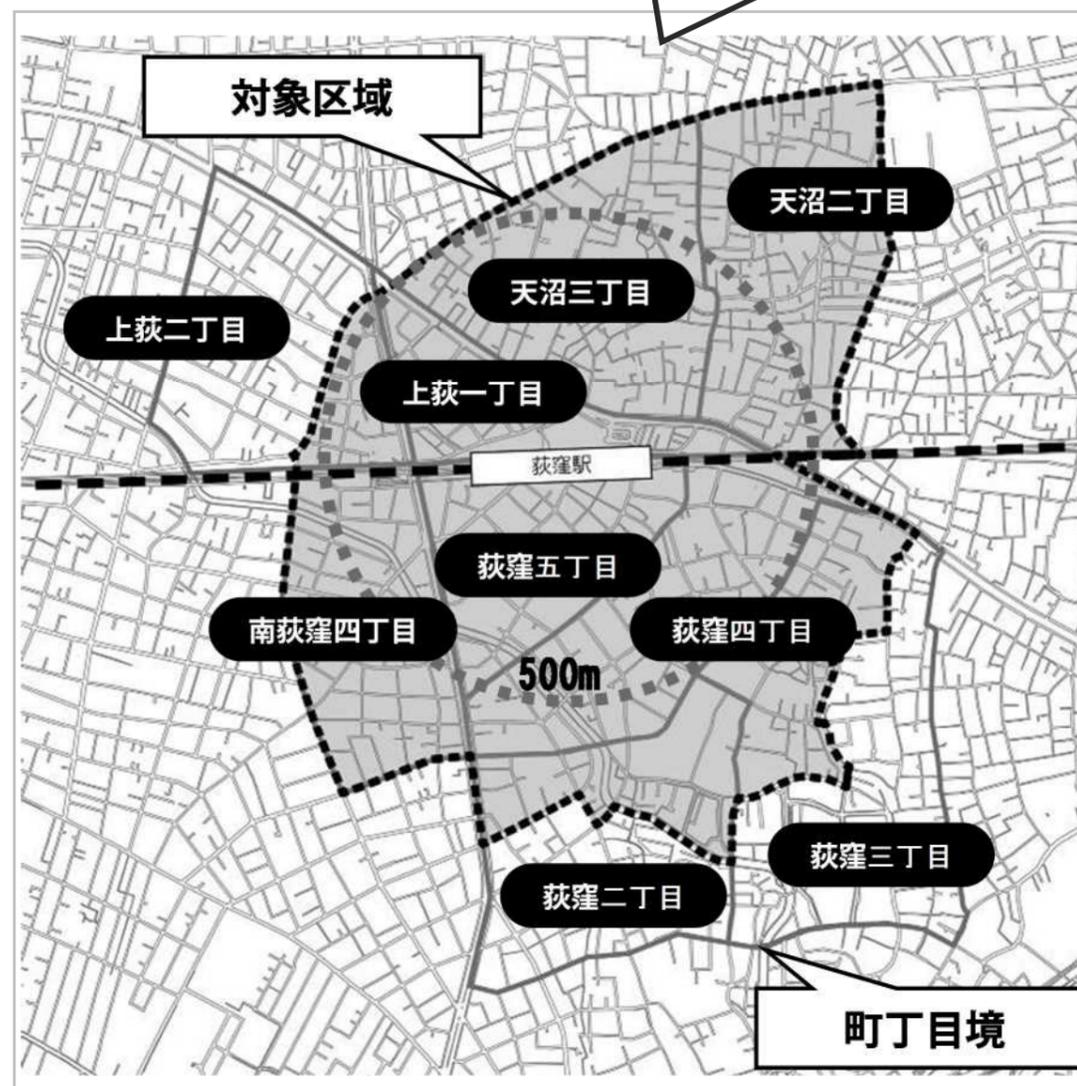
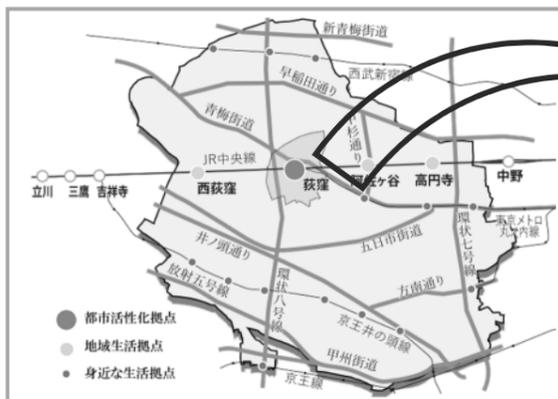
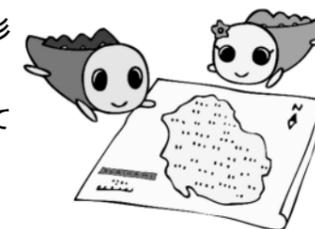
#### 《ステップ3》

まちづくり方針の具体化に向けた取組

## ■対象区域

荻窪駅を中心とする半径500mの範囲を基本として、町丁目境や地形地物で区切った下図の範囲を対象区域とします。

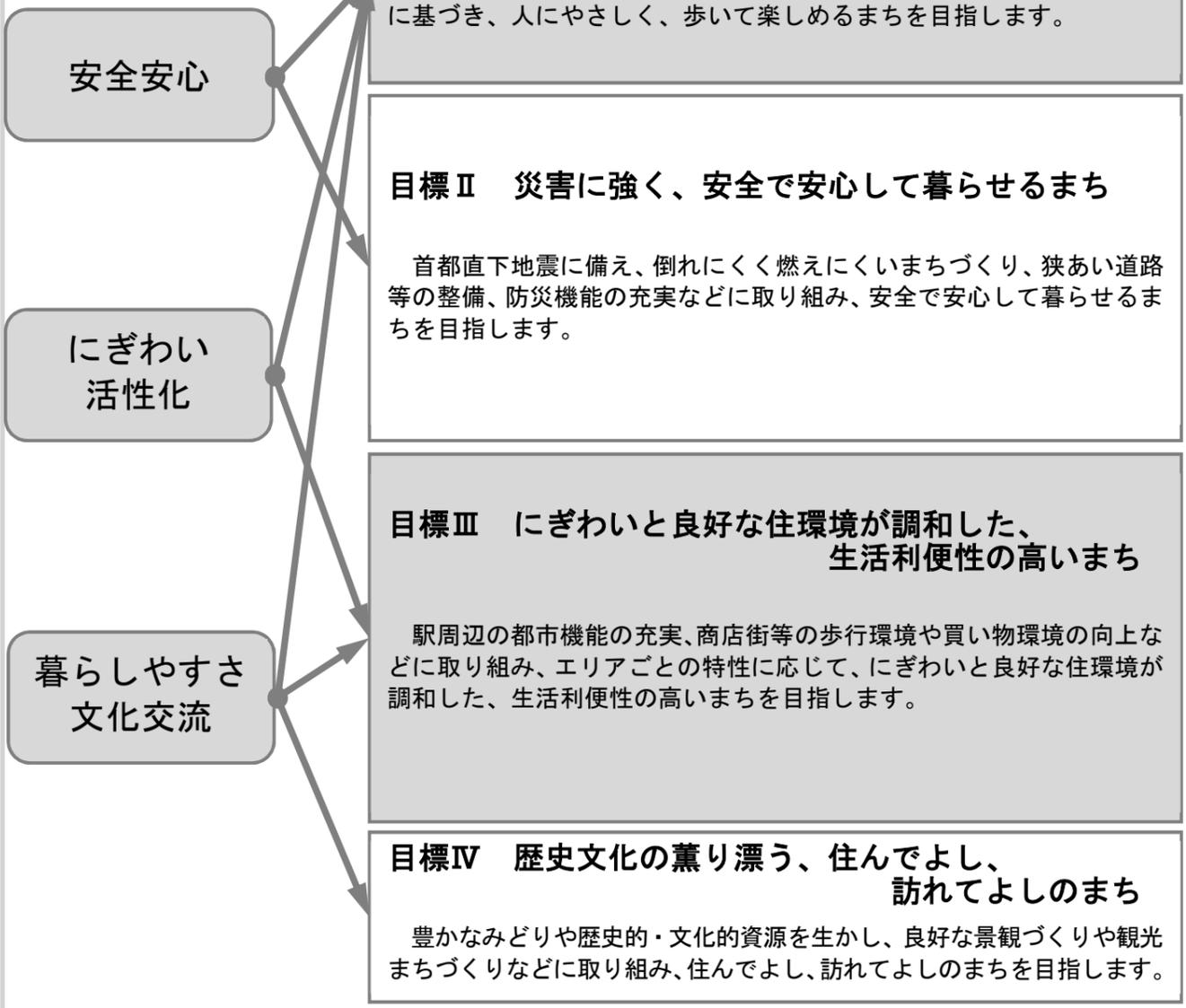
- 区内最大の交通結節点として、広域的な位置づけを含めて検討しています。
- 駅勢圏等を踏まえ、周辺地域との関係性に十分留意しています。



# 将来像 —住宅都市杉並の芯として 歴史文化を礎に にぎわいと住環境が調和したまち—

荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積した、杉並を代表するにぎわいの中心（都市活性化拠点）です。また、歴史的・文化的資源が数多く点在し、みどり豊かな住環境が広がる、住宅都市杉並を代表するまちです。

こうした荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和した、住みたい、訪れたいまちを目指します。



- 目標Ⅰ 人にやさしい、歩いて楽しめるまち**

駅南北の連絡機能の強化、回遊性の向上、歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上などに取り組み、ユニバーサルデザインの考えに基づき、人にやさしく、歩いて楽しめるまちを目指します。
- 目標Ⅱ 災害に強く、安全で安心して暮らせるまち**

首都直下地震に備え、倒れにくく燃えにくいまちづくり、狭あい道路等の整備、防災機能の充実などに取り組み、安全で安心して暮らせるまちを目指します。
- 目標Ⅲ にぎわいと良好な住環境が調和した、生活利便性の高いまち**

駅周辺の都市機能の充実、商店街等の歩行環境や買い物環境の向上などに取り組み、エリアごとの特性に応じて、にぎわいと良好な住環境が調和した、生活利便性の高いまちを目指します。
- 目標Ⅳ 歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち**

豊かなみどりや歴史的・文化的資源を生かし、良好な景観づくりや観光まちづくりなどに取り組み、住んでよし、訪れてよしのまちを目指します。

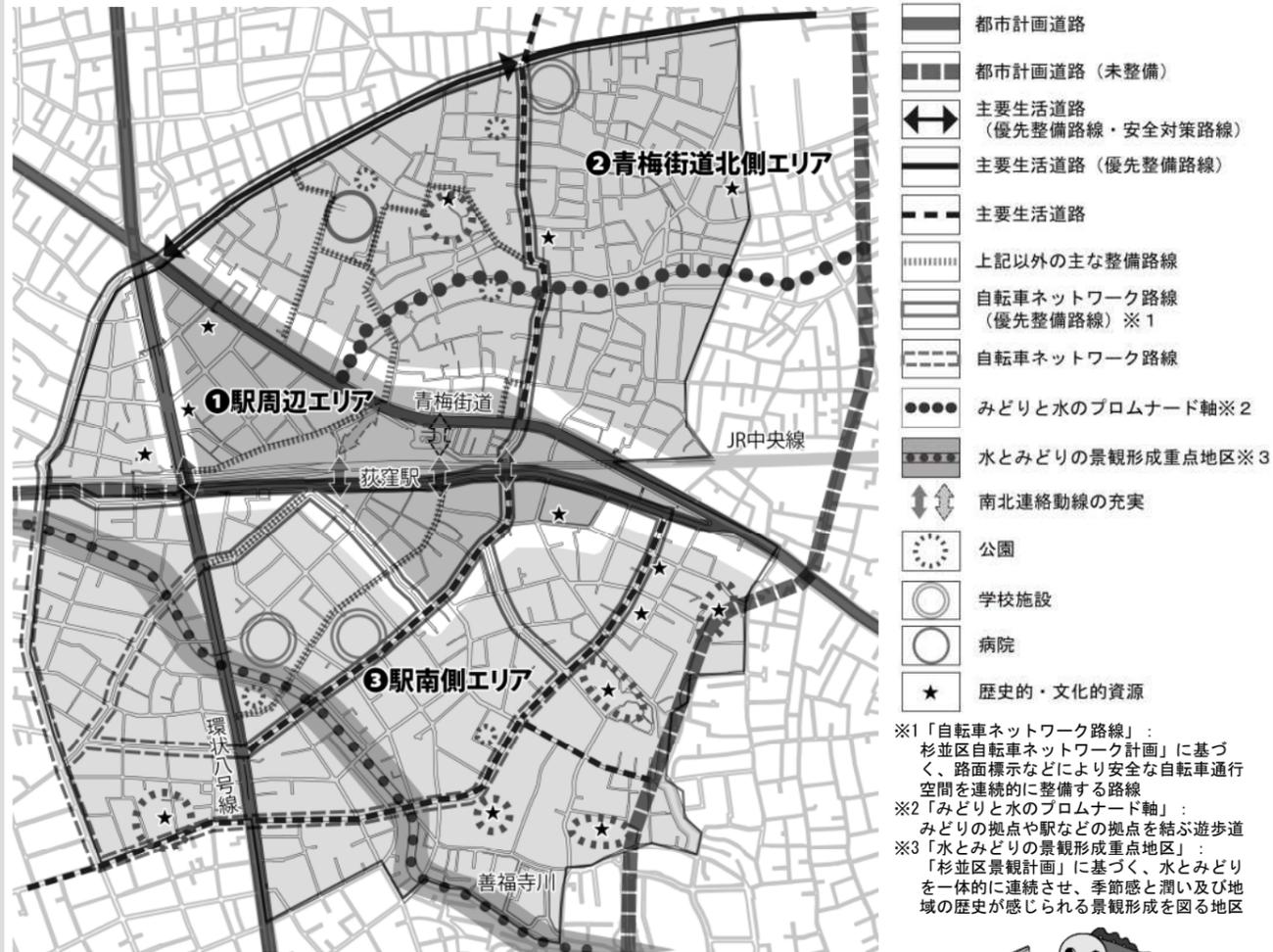
## テーマ別の取組の方向性

主な取組主体 ○：区民及び事業者 □：行政（区等）

- ① 南北連絡動線の充実 ○□
- ② 駅前広場機能の充実 ○□
- ③ 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上 ○□
- ④ 地域連携の促進 ○
- ① 拠点駅周辺としての防災機能の充実 ○□
- ② 木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性向上 ○□
- ③ 主要生活道路等の整備 ○□
- ④ 狭あい道路拡幅整備の推進 ○□
- ⑤ 幹線道路沿道等における耐震化・不燃化の促進 ○□
- ⑥ 水害対策の推進 ○□
- ⑦ 地域防災力・防犯力の強化 ○
- ① 多様な都市機能の充実 ○□
- ② 共同建替えや協調的な土地利用の誘導 ○□
- ③ 商店街等の歩行環境や買い物環境の向上 ○□
- ④ 荷捌き環境の改善 ○□
- ⑤ みどり豊かで良好な住環境の保全・育成 ○□
- ⑥ 緑化推進とオープンスペースの充実 ○□
- ⑦ 地域交流の促進 ○
- ① 良好な景観づくりの推進 ○□
- ② 歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりの推進 ○□
- ③ 地域の魅力発信 ○□



## ■エリア別の取組の方向性



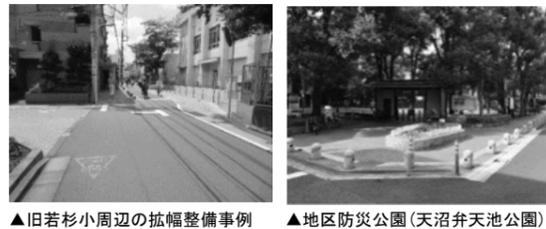
### 【① 駅周辺エリア】

- 多様な都市機能の高度な集積により、住宅都市杉並の芯にふさわしいにぎわいの創出と魅力の向上を図ります。  
《目標Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ》
- ハード・ソフト両面からの南北連絡動線や駅前広場機能の充実により、回遊性や災害時を含む滞留機能の向上を図ります。  
《目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ》



### 【② 青梅街道北側エリア】

- 木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性の向上を図るとともに、住環境とにぎわいや健康・福祉の拠点が共存し、多世代が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。  
《目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ》



### 【③ 駅南側エリア】

- みどり豊かで良好な住環境や景観を保全・育成しつつ、駅から住宅地へと続く身近な商店街の維持・創出を図ります。  
《目標Ⅰ・Ⅲ》
- 歴史的・文化的資源の集積を生かし、区民や来街者が歩いて楽しめることができるよう、住宅都市としての観光まちづくりを進めます。  
《目標Ⅰ・Ⅳ》



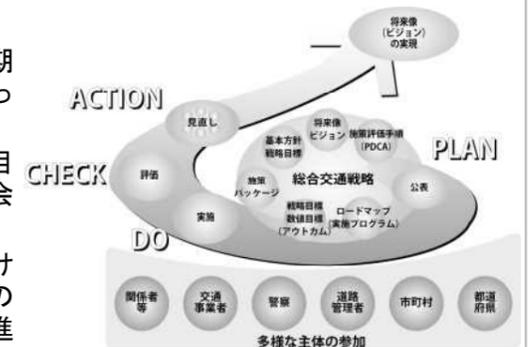
## ■具体化に向けた今後の取組

### 1. 区民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進

### 2. ハード・ソフトの取組の連携によるまちづくりの推進

### 3. 戦略的・計画的なまちづくりの推進

- 緊急性や実現可能性、費用対効果等を踏まえつつ、短期【概ね5年】、中長期【概ね5～20年】的な視点をもって、戦略的・計画的にまちづくりを推進
- 取組の進捗状況や効果を検証しながら、概ね5年を目途にまちづくり方針の見直しを行い、まちの動向や社会経済状況の変化に的確に対応したまちづくりを推進
- 具体化に向けた取組の1つとして、荻窪駅周辺における総合的な交通のあり方と必要となるハード・ソフトの取組などについて、交通事業者等と連携して検討を進め、「（仮称）荻窪駅周辺総合交通戦略」を策定・推進



## ■今後のスケジュール（主な取組例）

まちの将来像を実現するための4つの目標を踏まえ、主に「交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりの推進」、「駅周辺エリアにおける都市機能・防災機能の充実」、「観光まちづくりの推進」の観点から、各取組について、一定的・総合的に進行管理を行います。

短期的取組（概ね5年）

中長期的取組（概ね5～20年）

### 交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりの推進

総合的な交通戦略の策定・推進	交通事業者等と連携し、（仮称）荻窪駅周辺総合交通戦略を策定（平成29・30年度）	・PDCAサイクルの手法による戦略の評価や必要に応じた見直し
目標Ⅰ-①南北連絡動線の充実	荻窪地下道の改善整備 鉄道事業者等の関係者との意見交換	駅前大規模商業施設の機能更新期に向けた関係者との意見交換 駅周辺の基盤整備の方針の調査・検討 駅前大規模商業施設の機能更新期をとらえた駅周辺の基盤整備の具体化に向けた取組
目標Ⅰ-②駅前広場機能の充実	関係権利者等との意見交換	
目標Ⅱ-③主要生活道路等の整備	「すぎなみ道づくり（道路整備方針）」に基づく主要生活道路の優先整備路線・安全対策路線の整備	次期方針に基づく主要生活道路の整備
目標Ⅱ-③歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上	「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく優先整備路線の整備	次期計画に基づく自転車ネットワーク路線の整備
目標Ⅲ-③商店街等の歩行環境や買い物環境の向上	商店会や関連事業者等と連携した調査・検討	荷捌き環境改善の具体化に向けた取組
目標Ⅲ-④荷捌き環境の改善		

### 駅周辺エリアにおける都市機能・防災機能の充実

目標Ⅰ-①拠点駅周辺としての防災機能の充実	公共的な貢献を伴う共同建替え等に向けた関係権利者等の意向・動向の把握・調整
目標Ⅲ-①多様な都市機能の充実	北口駅前広場東側隣接街区の関係権利者等との意見交換、都市開発諸制度等の活用を検討
目標Ⅲ-②共同建替えや協調的な土地利用の誘導	公共的な貢献を伴う共同建替え等の具体化に向けた取組

### 観光まちづくりの推進

目標Ⅳ-②歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりの推進	荻外荘の復原・整備 サイン・案内板等の整備など	荻外荘を中心に、周辺エリアをハード・ソフトの両面から観光資源として整備
目標Ⅳ-③地域の魅力発信	情報発信拠点の整備に向けた調査・検討	

### 既定事業等の推進

継続的な取組

## ～(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略の検討を進めています～

杉並区では、「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向けた取組の1つとして、荻窪駅周辺を対象区域とした都市総合交通戦略の検討を進めています。

都市総合交通戦略は、都市が抱えるさまざまな課題を解決するために、行政や交通事業者、警察などの関係者が協力し合って、交通に関する取組とまちづくりをうまく組み合わせ、望ましい都市像の実現に向けて施策を推進していくことを目的としています。

区では、昨年8月に、右のメンバーからなる「杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会」を設置し、課題の共有や意見交換を行いながら、「(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略」の策定(平成30年度予定)に向けて取り組んでいます。

取組の状況については、今後、このまちづくりニュースなどでもお知らせしますので、よろしくお願いいたします。

### 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略 連絡協議会構成メンバー

- ・学識経験者
- ・鉄道事業者
- ・バス事業者
- ・ハイヤー・タクシー事業者
- ・警視庁
- ・東京都
- ・杉並区



### トピック

平成29年11月に、青梅街道北側にある、「教会通り新栄会」で、商店街自転車マナーアップキャンペーンを実施しました。

教会通りでは、歩行者の間を、スピードを緩めず、すり抜けて走る自転車が多い状況が見られます。そこで、商店街、荻窪警察署、そして区が協力して、朝の通勤時間帯に、ポケットティッシュを配りながら、「自転車は歩行者に配慮してゆっくり走ってください。」と、交通安全を呼びかけました。

自転車は、「自転車安全利用五則」を守って利用し、自転車に乗る人も、乗らない人も、気持ちよく道路を通行できるようにしましょう。

#### 「自転車安全利用五則」

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. 子どもはヘルメットを着用



### お問合わせ先

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区 都市整備部 まちづくり推進課 荻窪まちづくり担当  
(平成30年4月から「市街地整備課 荻窪まちづくり担当」に変わります。)  
TEL : 03-3312-2111 FAX : 03-3312-2907